

大分県教育庁

遠隔教育配信センター

地理的な制約に左右されず、
どこにいても、より高いレベルの学びに挑戦できる。
同じ目標を持つ仲間とつながり、
刺激を受けながら、自分の未来を描いていける。

新しい技術が拓く、次世代の学びのかたち。
一人ひとりの意志を尊重し、未来を切り拓く学びの環境。

学ぶこと、それは前に進むこと
Learn, and move forward



大分県教育庁遠隔教育配信センター  oitatec@oen.ed.jp

詳しくは
ホームページを
チェック!

大分県 遠隔教育



遠くても、学べる。
つながる。

そして令和7年4月から、配信センター方式の遠隔教育も開始しました。

地域の壁を越えて、
学びの可能性を広げる。

ひとつの授業を複数の学校で。
同時に共有する「新しい教育の形」

配信センター方式

大分県立大分上野丘高校の敷地内にある「遠隔教育配信センター」から、同時に複数の高校へリアルタイムで授業を届ける仕組みです。

先生は配信センターから授業を行い、生徒はそれぞれの高校にいながらまるで“同じ教室で授業を受けているような”感覚で学ぶことができます。

学びは、地域を越えて動き出す。

大分県では、遠隔教育配信センターから各受信校へ授業を配信しています。対面授業に近い環境で学べるほか、他校の生徒と一緒に授業を受けることで交流も生まれます。令和8年度は、県内13校で遠隔教育を実施しています。

遠隔教育配信センター

担当教員が各高校に向けて授業を配信したり、遠隔システムを用いて勉強のサポートをします。



センター専任教員が遠隔で学習支援を実施します。



授業を行う教員の前にも2校の生徒を映すモニターが設置され、生徒の表情や反応を見ながらコミュニケーションを取ることが可能です。

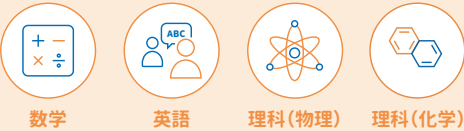
令和8年の受信校

大分県では原則2校合同で授業を行っています。

佐伯鶴城高校	↔	日田高校
臼杵高校	↔	宇佐高校
高田高校	↔	玖珠美山高校
国東高校	↔	安心院高校
杵築高校	↔	竹田高校
別府鶴見丘高校	↔	中津南高校
久住高原農業高校		

※令和8年 年間配信時間数 2,590時間

配信科目



※数学・英語は一部の科目を実施
理科（物理・化学）は令和8年度の3年生より実施



受信校

原則、理系選択者のうち難関大学等を志望する生徒各高校10名程度で実施。
遠隔教育配信センターの先生から同じ教室にいるような感覚で授業を受けることができます。



遠隔教育一体型機器で生徒は同じ教室内に、先生がいるような感覚で授業を受けることができます。



遠隔サポートアバターを活用する事によって、一人ひとり丁寧に指導ができます。
※4校で実証実験中

令和9年4月からの受信校

別府翔青高校	↔	中津北高校		
由布高校	↔	津久見高校	↔	三重総合高校

生徒進学支援オプション(SOP)の実施

大分県では、遠隔授業はもちろん、生徒進学支援オプション(SOP)を実施することでより充実した学びの環境づくりを行います。

大分県下すべての
普通科等設置高校の生徒に実施

大分県下すべての
高校の生徒に実施

遠隔授業受信校の生徒のみに配信

SOP1 長期休業 特別授業 (ライブ配信・アーカイブ配信)
【内容】難関大等志望者向け特別授業
【受講場所】学校(自宅でも受講可)

SOP2_A ハイレベル問題 学習動画
【内容】九州大学を中心とした難関大学入試問題を解説など
【受講場所】学校(自宅でも受講可)

SOP2_B 弱点補強動画コンテンツ
つまづきやすい単元や重要事項を丁寧に解説

SOP2_C 遠隔授業コンテンツサイト
遠隔授業の動画をオンデマンド配信

SOP3 個別サポート学習
生徒一人ひとりの志望や定着度に応じた個別添削指導

SOP4 オンライン課題
授業内容の定着を図る補充問題や発展的な問題の演習

SOP5 未来支援講演会
大学教授や同じ環境から進路目標を達成した先輩による講話、ワークショップの開催

SOP6 個別学習相談
センター専任教員との教科における個別面談(授業中の疑問点の個別相談など)